

骨粗鬆症新報

2026年1月20日（火曜日）

第6号

骨粗鬆症の薬物療法 → 骨折予防

治療を続けることが
骨を守る力になる

骨粗鬆症は進行を止め、骨折を防ぐことができる“治療できる病気”です。

骨を守る薬には3種類のタイプがあります

骨吸収を抑える薬
骨が壊れるのを防ぐ
(ビスホスホネート、
デノスマブなど)

骨形成を促す薬
新しい骨をつくる
(テリパラチド、
ロモソズマブなど)

骨を支える薬
骨が壊れるのを防ぐ
(カルシウム、
ビタミンDなど)

続けることで、骨は強くなる

骨の代謝はゆっくり進むため、効果が出るまでに時間がかかります。治療をやめると、せっかく強くなった骨がまた弱くなってしまいます。“続けること”が、転倒や骨折を防ぐ一番の近道です。

医師、看護師、薬剤師と一緒に、効果的で無理なく続けられる治療を見つけましょう。

発行：骨粗鬆症リエゾンサービスセンター